

まちづくりキャッチフレーズ

あふれる笑顔 豊かな緑

交流とふれあいのまち倉吉



読書の楽しさ広がり 貸出者30万人突破!

市立図書館

8月25日(水) 市立図書館の貸出者数が平成13年の開館から30万人を越えました。

30万人目の利用者は、東町の米江^{よねえゆうこ}優子^{りゅうせい}さんと、息子^{りゅうせい}さんの龍星^{りゅうせい}ちゃんと一緒に来館されました。

記念セレモニーでは、長谷川市長より米江さん親子に花束と記念品(図書券、市営温水プール招待券、倉吉特産二十世紀梨など)が贈られました。

米江さんは、毎週2、3回図書館を利用され、「子どもが乗り物や動物の絵本が大好きでよく利用しています。この図書館はほっとする空間で、子どももここに来るのをたのしみにしています。」と話され、図書館が開催している「あかちゃんのおはなしかい」へ参加されました。

主な内容

- 第6回 指名応募制 前田寛治大賞展.....2
- シビックセンター-たからやオープン.....3
- ドリームベースボール.....4
- 南部忠平杯 第19回 くらよし女子駅伝/
第24回 日本海駅伝.....5
- アンニョンハセヨ! / 部落解放シリーズ...6
- 暮らしの交差点.....7~10
- ほけん11
- 伯耆しあわせの郷 / キャンパス便り.....12

2004 9・15

●倉吉市の人口(基本台帳) 49,116人(+14男 23,195人(+12女 25,921人(+2)世帯数 18,862世帯(-1)
●外国人登録者数 344人(-50男 91人(+3)女 253人(-53)世帯数 293世帯(-47)〔H16.8.31現在〕

第6回 指名応募制

前田寛治大賞展

～現代における写実をもとめて～

と き 9月18日(土)～10月24日(日) 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 9月21日、24日、27日、10月4日、12日、18日

ところ 倉吉博物館 (仲ノ町3445-8 打吹公園内)

1920年代後半に新写実主義を提唱し、革新的な作品を発表しつつ^{ようせつ}夭折してしまった前田寛治。彼が美術史に築いた偉大な業績を顕彰し未来へ向けて継承するため、1988年に創設した前田寛治大賞は、今回で6回を迎えました。この賞の目的は、前田の画論と画業を受けて現代における写実主義の新たな展開や可能性を探ることにあります。

現在における写実主義を実践している若手作家を推薦委員により選抜する指名応募制で、昨年選考された36人の作家から寄せられた69点の自信作を展示します。



準大賞 ^{おび} ^{おさむ} 小尾 修さん 『休息』



大賞 ^{よしかわ} ^{まこと} 芳川 誠さん 『収穫』



佳作賞 ^{さいこっ} ^か 蔡 國華さん
『旅人 - Something News()』



佳作賞 ^{かつみ} ^{ゆか} 勝見 由香さん
『民族の不定義』



佳作賞 ^{いのうえ} 井上 よう子さん
『天国に近い場所』

料金：一般 600円(500円) 大/高校生 300円(200円) 中/小学生 100円(50円) ()内は20名以上の団体料金
次の人は無料 70歳以上の人、身体に障害をお持ちの人、また、その介護が必要な人の介護者1人。証明出来るものを提示してください。

シビックセンターたからや

昨年、市が寄附を受けた市内宮川町のスーパー跡地が、9月25日（土）に、市民活動等の活動拠点施設として再生し、オープンします。

この跡地利用については、「協働プロジェクトたからや」を立ち上げ、市民と行政との協働により計画を策定し、その計画に基づき行政が整備を行い、整備後の施設運営はNPOが行うという、「市民と行政の協働のまちづくり」のモデルとなるものです。

この施設を活用し、市民活動等が活発に行われ、中心市街地に人が集まってくることを期待します。



市民活動

NPO・ボランティア団体の
事務所・活動拠点などにご利用ください。

福祉活動

障害者・高齢者団体の
事務所・活動拠点などにご利用ください。

地域資源の活用

地産地消、コミュニティビジネス
チャレンジショップなどにご利用ください。

倉庫

各種団体の物資の保管場所にご利用ください。

オープニングセレモニー

日時 9月25日(土) 13:00～13:50
場所 シビックセンターたからや1階
内容 「倉吉室内合奏団」
によるオープニングコンサートほか

NPO・ボランティア研修会

日時 9月25日(土)14:00～16:00
場所 シビックセンターたからや1階
内容 講演会
「自立事業型NPOをめざして」
講師 特定非営利活動法人未来
理事長 岸田寛昭さん
参加無料です。

地産地消コーナーを開設

シビックセンターたからやに、農産物、農産物加工品、その他、地域で生産・加工した品物を販売するコーナーが開設されます。

個人、グループ、公民館などで生産・加工した品物を、この施設の指定管理者である未来が販売を受託いたします。詳しくは、未来まで

利用申込・問い合わせ先：

シビックセンターたからや指定管理者 特定非営利活動法人 未来 ☎22-9791 倉吉市役所企画課 ☎22-8161

日本海ケーブルネットワーク エリア拡大

平成16年度新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業により、未整備地域を整備します。

整備地域は

古川沢、清谷町1・2丁目、栗尾、田内、三明寺西・東、北面、穴沢、別所、穴田、鋤、谷、津原、尾原、半坂、上神、寺谷、大谷の未整備地区、和田の未整備地区、黒見、昭和、富海、下大江、長坂町、長坂新町、弓削、東鴨新町、大宮、岩倉、生竹、耳、広瀬の一部となります。

高城・北谷の未整備地域は次年度の整備を予定しております。

問い合わせ先：情報政策課 ☎22-8150

カンボジア シェムリアップ州は、カンボジアの首都プノンペンから北西に三百三十km離れ、タイとの国境近くに位置し、人口は約七十万人、面積一万二千四百十km²で、世界遺産のアンコールワット遺跡群があります。主な産業は、農業と観光です。



左から4人目が、チェン・リムスリーン副知事。

カンボジア シェムリアップ州

副知事一行来倉吉

八月三十日(月)に、カンボジア・シェムリアップ州副知事 チェン・リムスリーンさんを
はじめとして八人が、同州と倉吉市の友好関係をもっと深めるために、交流機会を探すことや、日本とカンボジアの文化交流機会を持つために、市長を表敬訪問されました。

訪問団は、同州の文化芸術部長、農業部長、観光部長、副知事秘書、通訳などで、二十世紀梨記念館、白壁土蔵群、県立農業大学校などを視察されました。